

讃岐香川の様々な文化発展を応援します。

2014

冬

12月1日発行(季刊)



# 花の一生に人生をなぞらえて

落ちた大地にたくましく根付き成長する新芽が、紅く色づき開花を待つ蕾の時期を経て、短い時間を誇らしく咲く満開のひとときを過ごして、そして、惜しげもなく散っていく。無にかえりながらまた新しい世界への芽吹きを繰り返す循環。まぶしい光の中に浮かぶ小さな花が人の世に倣った花の命を語りかけます。

空間アーティスト 天雲美幸の花語り  
ちょっとこましのべとて  
12月から2月までの茶華道・イベント情報  
財団の活動報告とお知らせ

# 空間アートインスト

## 天雲美幸の花語り

花語り

「花語り」成立まで



花語り第四章・余白（フォワイエビル）

幼児体験が人生に影響するといわれますが、私の花とのかかわりも幼い頃から始まっていたように思いますと天雲美幸さんの話が始まりました。花の記憶は小学校の行き帰りに摘んでいた山野草が原点だと。と言っても、四季折々の風景の中で野の花を摘む少女の姿は日本のあちこちでよく見られた光景。花への幼い思いが彼女の「花語り」につながっていった過程を探訪してみました。

アレンジメントの型にはまらない自由な生け方や風に搖れるような優雅さが魅力で始めた趣味が、生徒さんを募つて教室を主宰するようになつていくのは、花屋を営むようになったことがきっかけにありました。プレゼント用の花束やブライダルブーケが好評で、作り方の教えを乞う生徒さんが岡山蘭博から誘いを受けて出品した作品

時世にあつて、豪華な花材をふんだんに使つての大規模な花展の中にも、日本古来の侘びた枝や可憐な花で構成する作品は欠かせません、あの小さな名もない花を愛する心は続いていますと言葉を結ばれました。世界中からお花が輸入されるごとに、自分の素直な気持ちを花で表現するようになりました。天雲さんはこの原点の明るさ幸福感にあるのやも知れません。世界中からお花が輸入されるごとに、自分の素直な気持ちを花で表現する花展回数が増えしていく原動力になつたのだと思いますと力調も入りました。天雲さんの幼い思い出の中の花は作為的に置き換えた慰めや癒しではなく、自然な素直さで見つけた花への思いがあつたようですね。彼女の花のおおらかな印象は案外この原點の明るさ幸福感にあるのやも知れません。

「花語り」第一章が高松市常磐町の常磐本館で開催されました。本格的な和風老舗旅館の大広間いっぱいに桜が咲き、金屏風を背にして野山の蔓が枝を絡ませる間から洋花がのぞくという和の空間を彩つた躍動的な大作から、習い始めたばかりの生徒さんたちの可愛いグラスにあしらつた作品まで五十点に及ぶ創作花が、お迎えしたお客様たちから「伝統美あふれる会場にマッチして、まるで別世界にいるよう」と喜ばれ、本来は、学習成果発表の場へのありがたい来場者から、逆にいたいたお礼の言葉に戸惑いながらも、表現者冥利に尽くる思いをみんなで共有できただことが、次へのエネルギーに

お花を生計の糧とした生活の中で始めた「生け込み」、これはイベント会場とか結婚式場の宴会場、スナックやバー、商店のワインドーなどに花材を持ち込んで花を生けて、雰囲気を華やかに品よくお花の原点ですねと相槌を打ちましたところ、いえいえ、学校の行き帰りに摘んだ花を教室に飾つたり、家に帰つて母にプレゼントしていたあの頃のお花が私の原点ですと訂正が入りました。子供たちのあどけなも残酷な仲間はずれにあつた学齢期を、ごく自然に、野に咲く小さな花の世界に包まれて過ごした思い出は、花に逃げ込むようなものではなく、もつと明るく、きっと幸せなものだつたろうと思ひますと力調も入りました。天雲さんの幼い思い出の中の花は作為的に置き換えた慰めや癒しではなく、自然な素直さで見つけた花への思いがあつたようですね。彼女の花のおおらかな印象は案外この原點の明るさ幸福感にあるのやも知れません。

示の斬新さが見えました)

さらに第四章は高松市丸亀町再開発で取り壊し予定のフォワードビル全館(一階のカフェなどテナント店の一部営業はありました)が提供され、つい最近まで

最新流行の色や柄のファッショング商品の並んでいた棚や壁に思い思いの作品が飾られ、お花だけでディスプレイしたお店

みないとフリーのお客様からも喜ばれました。

花展の羅列ばかりになりましたが、善通寺市原田町のレストランDEARでの

第五章の後、「夜光環」と題して、銀細作家や妖怪画家たちとコラボ展が高松市屋島西町浦生の体育館で催されました。

アクリルのタワーや大小の竹筒に生けた花と、二千個の銀細工を組み合わせた才

ブジエ、天井から吊下ろした布に描いた妖怪の絵に芸術空間の不思議な魅力と好評でした。

#### 四季の循環を独創的に

生徒さんたちや他分野の芸術家たちとの共同した花展は楽しいのですが、今回は思いつき私の花語りを見てくださいと平成二十四年春に高松市庵治町にある歯ART美術館で、空間アーチスト天雲美幸の世界「添草華」と題した個展が開かれ、身近な草花に寄り添つて暮らすとの思いを込めて、生花やアクリル板、紙など様々な素材を組み合わせて四季の循環を表現した独創的な作品が来場者を楽しませていると四国新聞に紹介されました。

#### これからの「花語り

場所や空間全体を作品として体験される絵画や彫刻など現代美術の表現手法の一つであるインスタレーションのようなフラワーアレンジメントの世界、卓上に小さな野の花を一輪挿すような場面、人々の幸せを華やかに演出し、哀しみにやさしく寄り添う雰囲気…。花の語りかける様々な表情に、私の思いを語りかけ、創作の世界の厳しさを楽しむ日々を送りたい、お花は一生の友だちですと天雲さんの話が終わりました。来年五月には当財団の茶室や露地いっぱいに「花語り」第六章「満薰」が繰り広げられます。どうぞ、ご期待ください。

プライダル展示場  
なりましたとも。更なるステップの原動力です。

第一回制作発表会（常盤本館）

第二章は高松市浜ノ町弘憲寺のお堂の縁側、書院などに流木やガラス、金属などあらゆる素材を組み合わせた表現で、白い壁や襖、畳のスペースに色とりどりの感性の競演が繰り広げられました。かわいらしさと優雅さが同居と評した人があつたのは、二十代から六十代までといふ弟子さんたちの年齢層の広さによるものだったのでしょうか。この時も大勢の人が来てくれて、日頃は静かな境内が賑わっていましたが、これもお花のおかげ、生徒さんたちの精進の賜物と天雲先生はいつも謙虚でした。

続いての第三章は高松市屋島西町の高松テルサが会場となり、受講生八十人の作品が和や南極（生徒さんの旦那さんから任地先の南極の氷が届いて、来場者に触つて喜ばれています）をテーマにして一、二階の会場を埋め尽くし階段にも作品が並び、ながらお花の遊歩道に見えました。建物と一体化した展



添草華（歯ART美術館）

今年還暦を迎えた天雲美幸さん。お祝い会の世話を人から真っ赤な王冠をプレゼントされてちょっと照れ気味でした。



# ちよつとこましのべとつて

～さぬき弁のマナー講座②～

携帯電話編

久しぶりに電車に乗って目にした車内広告。「ちよつとこま」って、「じのべとつて」って。

なんのこつちゃ？ってよく見る「携帯電話を電車内で使うのはやめましょう」というマナー広告でした。しかも筆文字。

方言つて筆で書くとインパクトありますよねって話していると、そういえば方言を筆で書く先生が植松町にいらっしゃいますよ。そんな情報を聞いて訪ねてみました。



小高い丘に登つて行くと駐車場から芸術としていました。

今回訪れたのは池田秋涛先生のアトリエ、その名もNAYA-NANYA。真っ赤な納屋を改造したアトリエ兼ギャラリーです。2階に上がると見たことのあるポスターがありました。

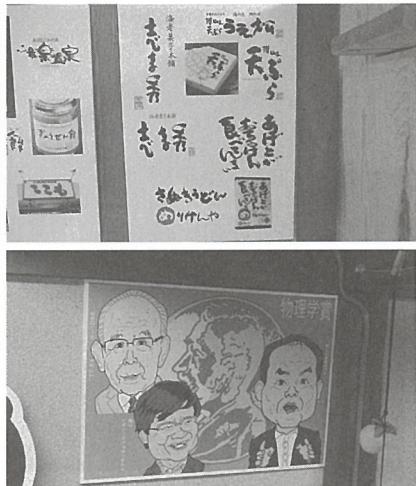
いろいろお話を聞いてみました。

なぜ讀岐弁ですかと聞いてみると、高校時代から書道を習い三十代後半までは県展や公募展に出展していたそうです。

その頃東京で作品の説明をする時に標準語で伝えるのは難しいと感じたそうです。

そして今まで書いてきた書で何かを伝えることは出来ていたのだろうかと思い「本当の気持ちを伝えるんやつたら、ほんまの言葉を書いたほうがえんちやうやろか」と考え「生活の中の書」をテーマに個展中心の活動に切り替えたそうです。

一枚の古瓦には「誰も見ていない、自分は観とる」そんな言葉が書かれていました。こんな瓦にでもこうして書けば伝わらん？ そう言られて子供の頃、近所のおじちゃんやおばちゃんから「もう暗ろうなつてきて。早よ帰らな心配するで」とか「こら



## 財団行事予定

(十二月～二月)

十二月

◆ 懐石講座 三友居 山本勝先生  
十一月二日(火) 午前十一時・午後三時  
◆ 十二月月釜 五人様茶会  
日時 十二月六日(土)

◆ 处 美藻庵 晴松亭(当財団茶室)  
席主 濃茶席 裏千家 口入田宗美  
英國紅茶席 細谷ひとみ  
茶席 濃茶・紅茶・点心席  
会費 五千円

入席時間(案内)(各席一時間十五分を予定)

第一席 A席・B席 九時  
第二席 A席・B席 十時三十分  
第三席 A席・B席 十一時十五分  
第四席 A席・B席 十二時四十五分

第五席 A席・B席 十四時十五分

◆ 和菓子講座 高橋初乃先生  
十二月十二日(金) 午前十時～十二時

◆ 月に一度の喫茶室 毎月第三火曜日  
十二月十六日(火) 午前十時～午後四時迄  
自由なお時間にお出掛け下さい。

ランチは要予約です。

◆ ヤングヤング(子供茶の湯講座)

毎月第二・第四土曜日  
山下純子先生

十一月十三日(土)・二十七日(土) 午前十一時～

◆ 初釜

平成二十七年乙未歳の初釜は、武者小路千家の高畠守徹宗匠と西村妙純先生が釜を懸けてくださることになりました。

初心者の方、流派の異なる方も大歓迎。新しい年のはじまりを日本の伝統文化でお祝いしてみませんか。

くにもの（16）

## 般若台・白犬の墓

高松市仏生山町の法然寺は、廢寺だった法然上人ゆかりの生福寺を再興という名目で、江戸時代初期に松平頼重によって建立されました。時を経た近年、創建当時より頼重悲願と言われていた五重塔も完成し、大名家の菩提寺は市井に親しまれています。境内の般若台には歴代藩主たちの墓がありますが、その中に「白犬之墓」があり、こんな言い伝えがあります。

九代頼恕の時代、江戸屋敷で逝去了した奥方さまの、国許への靈柩の長旅に白犬がついてきました。備前の下津井からは波路、不憫に思つた家来が船に乗せてやりましたところ、讃岐での埋葬を済ませての帰り道、大坂を目指す船が播磨沖に差しかかった時、犬は悲しそうに一声鳴いて海中に身を投げ、跡もとどめず没してしまいました。

当時のご家老たつた木村黙老人の隨筆集「聞く儘能記」に、藩邸の門前で生まれた野良犬を憐れんで可愛がつた奥方さまに恩義の殉死をしたのだろう、あつぱれな義犬と紹介され、いつの頃か、般若台の賢正院倫姫さまのお墓に寄り添うように白犬の墓が建てられました。



### お菓子な話 その21

## 栗きんとんとモンブラン

おせち料理でスイーツといえば栗きんとんですが、栗のスイーツといえばモンブラン。同じように栗を使っているのに洋栗、和栗の違いはあっても全然違いますよね。

栗きんとんの作り方を調べてみると今は薩摩芋の餡を作りそれを栗にまとわせるのが定番ですが、元々は栗餡を丸めた和菓子のようなものだったらしいです。

きんとん（金団）とはもともと金色の布団や団子という意味で、お正月のには最適のおめでたい色なんでしょうね。その色を鮮やかにするためにクチナシを加えるのが定番だそうです。

一方のモンブランは仏語でモン・ブラン・オ・マロンと言うように栗にホイップクリームを混ぜて螺旋状に盛り上げアルプス山脈の名峰モンブランに似せて作られたスイーツで、本来は雪に見立てた粉砂糖を振りかけていたそうですが、最近は写真のように栗を乗せていることが多いですね。安価に提供するために薩摩芋の餡で作られている商品もあるみたいです。

面白いのは最近両方ともに紫芋を使った商品が出てきたこと。洋の東西を問わず流行には敏感なんですね。



喧嘩しとんちやう。仲良うせんか」なんて言われた事を思い出しました。  
そんなお話をしている時に突然「ちょつと待つとつ」と階下へ。

すぐに上がってきたその手には仕出し弁

当の容器が。そして壁にかけて「捨てるつて言つてたんを貰つてきたんやけど、こうすれば氣持ちを伝える道具になるやろ」

突然の訪問に快く応じていただき、即興で作品を仕上げてくださる。

書で伝えたい。それを模索し続ける。そんな作者の情熱を感じました。

さらにアトリエの中には見たことのある書がたくさんありました。  
伝える気持ちが企業にも理解されているんですね。

コトデンのポスターは先生の作品ではありませんでした。同じ方言でも活字で書かれていると話題にもならなかつたかもしません。

伝えたいという気持ちは共通だつたのでしょうか。

併設されたギャラリーでは地元の似顔絵作家しゅん楽さんの個展が開催されています。

今年のノーベル賞を受賞された方々の似顔絵もありました。

近年はギャラリーだけでなくアトリエ裏

の農地も家庭菜園として解放しているそう

です。そして気の合う仲間たちとボランティア活動にはげみ、地域に密着した活動を楽しんでいるそうです。

心にしみる言葉、見に行つてください。

前号（文化通心83号）「キボリ工房・細谷隆治氏の仕事」の文中に誤りがありましたのでお詫びし訂正致します。

正：横山豊介（牛の彫刻家として有名）  
誤：横山豊介（現在 日展参与、彫刻家）

（087）826-3355

日時	一月五日（月）	一月九日（金）午前十時～十二時	二月九時	二月九時五十分
会席	濃茶席	武者小路千家	薄茶席	高畠守徹
茶席	濃茶・薄茶	点心席	武者小路千家	西村妙純
入席時間ご案内（各席十八名）				
第一席	九時	第三席	十時四十分	第四席
第五席	十二時二十分	第六席	十三時十分	第七席
各席二時間三十分钟を予定	十四時	第八席	十四時五十分	

### 一月

- ◆ 和菓子講座 高橋初乃先生  
一月九日（金）午前十時～十二時
- ◆ 月に一度の喫茶室 毎月第三火曜日  
一月二十日（火）午前十時～午後四時迄  
自由なお時間にお出掛け下さい。  
ランチは要予約です。
- ◆ 和菓子講座 高橋初乃先生  
一月十日（土）・二十四日（土）午前十一時～
- ◆ ヤングヤング（子供茶の湯講座）  
山下純子先生  
二月十四日（土）・二十八日（土）午前十一時～

### 二月

- ◆ 和菓子講座 高橋初乃先生  
二月十三日（金）午前十時～十二時
- ◆ 月に一度の喫茶室 每月第三火曜日  
二月十七日（火）午前十時～午後四時迄  
自由なお時間にお出掛け下さい。  
ランチは要予約です。
- ◆ ヤングヤング（子供茶の湯講座）  
山下純子先生  
二月十四日（土）・二十八日（土）午前十一時～

「月に一度の喫茶室」以外は予約が必要です。お申し込み、お問合せは、当財団事務局まで（水曜日休館）

高松市番町二丁目一一一二

# 茶 華道 ガイド

香川大学表千家流茶道部 ☎ (080)6380-7172

12/21 月釜 龍光塾 500円 9:30~14:00  
1/16, 17 初釜 龍光塾 2,000円 10:00~、12:30~  
1/18 月釜 龍光塾 500円 9:30~14:00  
2/15 月釜 龍光塾 500円 9:30~14:00

琴平月釜茶道会 ☎ (0877)58-9551

12/6~7 琴平歳末助け合いチャリティ茶会  
席主：金丸洋子  
ことひら総合会館 200円 10:00~15:00

華道一正流 ☎ (087)831-4987

2/21~22 華道一正流 生け花展 サンポート高松  
市民ギャラリー 300円 9:00~16:30

茶道裏千家淡交会香川支部 ☎ (0877)58-9551

12/7 観音寺 歳末茶会 席主：観音寺教授会  
働く婦人の家 500円 10:00~15:00  
12/7 善琴 月釜 席主：安井宗善  
樟蔭軒 500円 9:00~14:00  
12/21 坂出 月釜 席主：平尾宗可社中  
勤労福祉センター 500円 10:00~14:00  
1/25 善琴 月釜 席主：豊泉会  
樟蔭軒 500円 9:00~14:00  
2/22 坂出 月釜 席主：横井宗桂  
翠松閣 500円 10:00~14:00

茶道裏千家淡交会高松支部 ☎ (087)886-5668

12/14 年末チャリティー茶会 席主：青年部  
天神会館 800円 9:00~15:00  
12/21 由佐城 月釜 席主：森本宗惠  
由佐城 前売400円・当日500円 9:30~14:00  
2/1 裏千家淡交会 月釜 席主：田井宗隆  
天神会館 前売600円・当日700円 9:00~15:00

茶道石州流琴松会 ☎ (087)888-5311

1/18 第61回日本伝統工芸展高松展 協賛茶会  
席主：藤本美玉  
香川県立ミュージアム 600円 9:30~15:30  
2/1 節分茶会（点心付） 席主：岸宗源  
栗林公園内花園亭 3,000円 9:00~16:00

石州流讃岐清水派石州会 ☎ (087)898-6569

1/25 西徳寺月釜（東讃茶道懇話会） 席主：野崎宗美  
池戸西徳寺 500円 9:00~15:30  
東讃茶道懇話会 ☎ (087)898-0391  
1/25 月釜 席主：石州流 野崎みや子  
池戸西徳寺 500円 9:00~15:30  
武者小路千家香川官体会 ☎ (087)851-2258  
1/25 香川官体会月釜 席主：竹井守恵  
無量寿院 600円 9:00~15:00

高松市香南歴史民俗郷土館 ☎ (087)879-0717

<由佐城月釜茶会> 第2研修室（和室）  
前売400円・当日500円 9:30~14:00  
12/21 席主：森本宗恵（裏千家 高畠宗穂社中）  
2/15 席主：綾野宗悦（茶道石州流宗家高松会）

中條文化振興財団 ☎ (087)826-3355

12/6 12月月釜 五人様茶会 5,000円  
席主 濃茶席 裏千家 口入田宗美  
英國紅茶席 細谷ひとみ  
1/5 初釜 8,000円  
席主 濃茶席 武者小路千家 高畠守徹  
薄茶席 武者小路千家 西村妙純

以上の茶会はいずれも点心席を含みます。  
詳細は、財団行事予定をご覧ください。

# イベントガイド

とらまるバベットランド ☎ (0879)25-0055

12/13~2/22 冬の人形工作ワークショップ あったか素材を使った人形工作や2015年の干支「ヒツジ」をモチーフにした新作が登場  
ミュージアム 10:00~●  
12/20~23 とらまるクリスマスイベント クリスマスステージ  
ミュージアム 11:40~、14:00~●  
1/2~4 とらまるお正月イベント 人形劇場とらまる座お正月公演「なんにも仙人」・他 とらまる人形劇団  
人形劇場とらまる座 13:30~●

坂出市教育委員会文化振興課 ☎ (0877)44-5036

1/31 第8回レキブンコウ 「白峯寺客殿で山岳寺院講座」  
白峯寺 9:00~●（事前申込要）  
2/22 第9回レキブンコウ 「殿様プランチを食す」  
坂出市勤労福祉センター 9:00~●（事前申込要）

坂出市建設経済部産業課にぎわい室 ☎ (0877)44-5015

12/21、1/18、2/15 悲運の帝 崇徳上皇の足跡を追う  
坂出市觀光案内所 9:30~●  
2/7~8 第25回坂出天狗まつり  
松山小学校、JA香川県松山支店、相模坊、  
白峯寺、林田運動公園 11:00~●  
8日：第21回坂出天狗マラソン大会  
林田運動公園 9:00~●

坂出市民ホール ☎ (0877)45-1505

12/14 第41回 坂出市市民芸術祭日本舞踊公演  
11:00~●  
1/31、2/1 花き展示品評会 9:00~●  
2/14 崇徳上皇没後850年記念行事 13:00~●

坂出市民美術館 ☎ (0877)45-7110

12/6~14 坂出市民美術展覧会 9:00~●  
1/10~18 収蔵品展 9:00~●  
1/10~18 あなたに届けたい「彼女たちの絵画展」  
9:00~●  
1/23~25 坂出市保育所ブロック会「第44回幼児画展」  
9:00~●  
1/31~2/1 生活文化展 9:00~●  
2/12~15 第36回毎日児童生徒書き初めコンクール  
9:00~●  
鎌田共済会郷土博物館 ☎ (0877)46-2275  
9/30~3/29「尾崎秀南が描いた郷土の風景」展  
第3展示室 9:30~●

かまどホール ☎ (0877)46-2178

11/8~30 漆芸 豊澤英之・大志郎親子展 10:00~●  
12/6~28 ぼた織今昔展 10:00~●  
1/31~2/22 紙彫刻 中村耕二の世界 10:00~●

多度津町民会館 ☎ (0877)33-3330

12/14 葉加瀬太郎 Best Acoustic Tour "エトピリカ"  
17:00~●  
2/14 劇団四季ミュージカル ふたりのロッテ  
17:30~●

丸亀市文化観光課 ☎ (0877)24-8822

12/7 2014まるがめ第九プレコンサート  
本願寺塩屋別院 14:00~●  
12/14 2014まるがめ第九演奏会  
丸亀市民会館大ホール 14:00~●  
12/21 平成26年度まるがめ文化芸術祭主催公演  
丸亀市民吹奏楽団第41回定期演奏会  
丸亀市民会館大ホール 14:00~●  
1/24~2/15 親善都市交流40周年記念  
花嫁のれん~七尾と丸亀の婚礼~  
丸亀市立資料館 9:30~●  
2/22 平成26年度丸亀市若手芸術家支援事業  
Strings Chamber Unit the Bistro W Concert  
丸亀市総歌総合文化会館アレックス大ホール 14:00~●

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館 ☎ (0877)24-7755

~1/18 企画展「猪熊弦一郎展 形がいっぱい」  
10:00~●（12/25~31休館）  
~1/25 常設展「猪熊弦一郎展 純粋な芸術を求めて」  
10:00~●（12/25~31休館）  
12/7、14 子ども~大人向けワークショップ  
「オモシロカタチのスタンプハンカチ」  
7日 小学生向け、14日 中学生以上向け 10:00~●  
12/20、21 親子向けワークショップ  
「貼って遊ぼうべたべた！クリスマス」10:00~●  
2/1~ 企画展「鈴木理策写真展（仮称）」 10:00~●  
2/1~ 常設展「猪熊弦一郎展（タイトル未定）」10:00~●  
丸亀市接続総合文化会館（アレックス） ☎ (0877)86-6800  
12/2 情熱のフラメンコ 大ホール 19:00~●  
2/8 吉田正記念オーケストラ~いつでも元気が出る  
コンサート~ 大ホール 14:00~●  
2/15 あやうた音楽祭・内容：地域の合唱団体、音楽団体によ  
るジョイントコンサート 大ホール 13:00~●  
丸亀市若手芸術家支援 西浦詩織ヴァイオリニコン  
サート 大ホール 時間未定

丸亀市民会館 ☎ (0877)23-4141

12/12 宮川大輔×ケンドーコバヤシ トークライブ「あんぎゃー」  
大ホール 19:00~●  
12/14 2014まるがめ第九演奏会 大ホール 14:00~●  
12/20 12月度 うたごえ喫茶 中ホール 10:00~●  
12/25 アンサンブルの輪 大ホール 10:00~（予定）■  
1/18 丸亀トイズ兵仔虞楽団の足跡を辿る音楽フェスト  
「ニューイヤーコンサート」大ホール 14:00~■★  
1/25 丸亀シティフィルハーモニックオーケストラ  
第13回定期演奏会 大ホール 14:00~●  
2/8 新春 和の祭典 大ホール 10:00~■

あーとらんどギャラリー ☎ (0877)24-0927

12/6~25 らんど・フェア 展 10:00~■  
1/8~25 暮らしの漆器 3人展 10:00~■  
2/1~22 金 明植 退官記念展 10:00~■

炎まん美術館 ☎ (0877)75-3000

12/5~9 油絵二人「秋山静代+柳原るい子」展  
9:00~■  
12/12~16 Just Now 10人展 9:00~■  
12/19~23 第17回備前焼 勝賀瀬寛陶芸教室作品展  
9:00~■  
1/1~6 讃岐の鬼師達の作品展 9:00~■  
1/9~13 第18回秋山一水 日本書・水墨画展  
9:00~■  
1/16~20 トールペイント・木工展 9:00~■  
1/23~27 真鍋茂明展 9:00~■  
1/30~2/3 山本一則 写真俳句展 9:00~■  
2/6~11 油彩 5人展 9:00~■  
2/13~17 森光男 洋画展 9:00~■  
2/20~24 わやぎば展 9:00~■  
2/27~3/3 あかね保育園・園児作品展 9:00~■

# イベントガイド

香川県立ミュージアム ☎ (087)822-0002		1/18 四国ジュニアピアノコンクール受賞記念コンサート ホール 9:00~ ■	2/3~9 近代現代陶芸秀作展 10:00~ ■
~12/24、1/21~2/15 アート・コレクション 香川ゆかりの作家たち 常設展示室4・5 9:00~ ●	2/7~8 ヤマハヤングピアニストコンサート ホール 9:00~ ■	2/17~23 香川県美術家協会小品展 10:00~ ■	
~12/25 見て・知って・行ってみよう ふるさとの島 常設展示室1 9:00~ ●	玉藻公園 ☎ (087)851-1521	2/24~3/2 永吉秀司 日本画展 10:00~ ■	
~12/25、1/2~2/15 アート・コレクション 20世紀の美術 常設展示室2 9:00~ ●	12/1~1/31「まつぼっくりツリー」の展示 水門横 12/5~14 東京藝術大学所蔵作品展 披雲閣 1/1~3 新年無料開放 園内 1/2 第4回新春書初め大会 披雲閣 1/3 第7回高松城新春かるた大会 披雲閣 2/7 菊作り講習会 披雲閣	ギャラリーen ☎ (087)851-3711	
1/2~18 第61回日本伝統工芸展 9:00~ ■	ミューズホール ☎ (087)833-0013-0014	12/4~12 長谷川まみ 金工展 ギャラリーen 10:00~ ■	
1/2~3/1 守る・攻める・城と館 常設展示室1 9:00~ ●	12/14 香川大学ギター・アンサンブル部 定期演奏会 18:00~ ●	12/8~13 てんてこ舞 小物フェア 10:00~ ■	
1/10 キッズワークショップ うるしにチャレンジ 研修室 9:30~、14:00~ ■	12/27 若き笛吹きたちコンサート 15:30~ ■	社のとなり 10:00~ ■	
1/11 講演会「九谷焼のいま、釉裏金彩の美」 講師:吉田美統 ※講演後、展覧会場にて 作品解説(要観覧券) 講堂 13:30~ ■	高松市文化芸術振興課 ☎ (087)839-2636	1/15~18 おひろめ展 や和らぎたかす 10:00~ ■	
1/17 ミュージアムワークショップ はじめての金工 工作室 13:30~ ●	<サンポートホール高松開館10周年記念事業> 12/13 ズーラシアンフィルハーモニー管弦楽団 大ホール 14:00~ ■	1/15~22 二嶋聟子 ノッティング展 10:00~ ■	
2/8 ミュージアムワークショップ 匠のわざ・金糸銀糸装飾刺繡 研修室 13:30~ ■	2/8 西村雅彦withオーケストラ・アンサンブル 金沢弦楽四重奏団 ベートーヴェンと三人の女たち 大ホール 14:00~ ■	社のとなり 10:00~ ■	
2/22 戦国の城館跡に動乱の郷土史を探る 研修室 13:30~ ■	2/21、22 四国学院大学協働事業 演劇どっこむ「高松なう」 大ホール 14:00~ ■	2/5~12 寺沢京秀 市松人形展 10:00~ ■	
アルファあなたふきホール ☎ (087)823-3131	<高松国分寺ホール> 12/28 畠山茂オペラ教室 13:30~ ■	まちのシユーレ963 ☎ (087)800-7888	
12/9 ミュージカル「クリスマス・キャロル」 大ホール 19:00~ ●	1/12 陸上自衛隊第14音楽隊 ニューイヤーコンサート 13:30~ ■	12/13~23 山本美文の部屋(木工家・山本美文の仕事を紹介する展示会) ギャラリー 11:00~ ■	
1/24 秋川雅史・澤畠恵美&N饗メンバーによるクイント 大ホール 14:00~ ■	2/7 三遊亭究斗ミュージカル落語独演会 13:30~ ■	12/26~1/11(仮) ことほぐ うるし展(漆器の展示会) ギャラリー 11:00~ ■	
1/31 牛田智大 ピアノ・リサイタル 小ホール 14:00~ ●	高松市文化財課 ☎ (087)839-2660	1/31~2/11 いわてんど(岩手の作り手たちの良いモノ、おいしいモノが並ぶ展示会) ギャラリー 11:00~ ■	
2/11 ジュニア・コーラス フェスティバル 2015 大ホール 13:30~ ■	12/1 柴野栗山208年祭 栗山記念館 9:00~ ■	珈琲俱楽部櫻 ☎ 090-1579-2236	
高松市美術館 ☎ (087)823-1711	1/1~3 玉藻公園 無料開放 玉藻公園	12/6~13 ベンヤマグチのクリスマス・とりいろ とりどり 10:00~ ■	
~12/27 第4期常設展 常設展示室 9:30~ ● 1室:美のパージュ—20世紀フランス美術と日本 2室:讀崎漆芸—始まりから現代まで H27.1月~H28.3月(予定)まで改修工事のため休館	1/2 高松城新春書初め大会 玉藻公園披雲閣「蘇鉄の間」 9:00~ ■	12/14 手づくりwork shop タイヒコロのペちゃん こかぎ棒ハンドウォーマー 13:30~ ■	
高松市歴史資料館(サンクリスタル高松) ☎ (087)861-4520	1/3 高松城新春かるた大会 玉藻公園披雲閣「大書院」 14:00~ ■	12/16~30 藤村英代と山口和馬のギフト展 10:00~ ■	
~12/23 史跡・天然記念物屋島指定80周年記念企画展「屋島 —シンボリックな大地に刻まれた歴史—」9:00~ ■	1/3 第36回水任流 新春初泳ぎ大会 大的場海岸 10:00~ ■	1/12~25 タイヒコロの手袋・くつ下展 10:00~ ■	
2/7~3/22 収蔵品展「高松の商店街史展(仮題)」9:00~ ■	<探究!たかまつ遺産 人・もの・場から高松の歴史と地域を考える> <後期>屋島の天然記念物 12/20 「屋島の植生と植物」 高松市中央図書館3階視聴覚ホール 10:00~ ■	2/3~14 『手作り仲間 彩IRO展』グループ名:しづく ま文化部 バッグ・ポーチ・アクセサリー・ガラ 細工・編物・織物等展示即売 10:00~ ■	
菊池寛記念館(サンクリスタル高松) ☎ (087)861-4502	1/10 「屋島の鳥類とミサゴ」 高松市中央図書館3階視聴覚ホール 10:00~ ■	2/15~28 ちょっと素敵だけど手ばなししゃう展 10:00~ ■	
12/19 菊池寛塾「菊池寛の時代③」講師:大西良生 3階第1集会室 13:30~ ■(先着70人) <文芸講座>3階第1集会室 13:30~ ■(先着70人)	1/31 「屋島における陸棲貝類の発見」 高松市中央図書館3階視聴覚ホール 10:00~ ■	内町ギャラリー Tamamo ☎ (087)822-1037	
12/6 「卑弥呼と天照大神」講師:富川光雄 1/10 「文芸と聖書」講師:三谷保 2/7 菊池寛祖先の系譜「菊池守拙と藩校講道館」 講師:田山泰三 3/7 「雑誌『動物文学』は戦時下で何をしたか」 講師:渡邊史郎	<ふるさと探訪> 12/21 多肥周辺を訪ねる(予定) 9:30~ ■ 1/25 香南町、中山城山の史跡を 訪ねる(予定) 9:30~ ■ 2/22 前田地区的文化財を訪ねる(予定) 9:30~ ■	12/2~7 さぬきおんなの手仕事展Vol.6 県内で活躍する女性作家10組による漆、盆栽、フェルト、クラフト、組紐、ガラスなど 企画:GALLERY komorebi 10:00~ ■	
高松市中央図書館 ☎ (087)861-4501	NHKふれあいギャラリー ☎ (087)825-0160	12/16~21 romantic Alamode 新作個展「ステンレスワイヤーが織りなすレースのようないーケセサリー」 11:00~ ■	
12/21 「冬のおたのしみ会」 内容:手遊び、 大型紙芝居、人形劇、朗読劇など サンクリスタル高松(中央図書館) 3階視聴覚ホール 14:00~ ■	12/2~7 2014フォトさぬき写真展 9:30~ ■	高松市香南歴史民俗郷土館 ☎ (087)879-0717	
高松市生涯学習センター ☎ (087)811-6222	12/9~14 第8回NHK漢字書道教室作品展 NHKキャラメル漢字書道教室 9:30~ ■	<2F市民ギャラリー>	
12/4 プリザーブドフラワーで作るクリスマス飾り 実習室 13:30~(材料費要)	12/16~21 第58回(平成26年度)JA共済全国小中学生 書道コンクール 香川県選入賞作品展示会 全国共済農業協同組合連合会香川県本部 (JA共済連香川) 9:30~ ■	12/2/7 共催展「第15回 香南文化交流展」 9:00~ ■	
12/13 エコクラフトを編んでかごをつくろう 実習室 13:30~(材料費要)	1/6~11 香川支部と仲間たち展 日本折紙協会 香川支部おりがみKAGAWA 9:30~ ■	12/14~1/13 企画展「墨の美 三井飯山展」 9:00~ ■	
1/21 らくらくピアノ 音楽室 10:00~ ■	1/13~18 2015私達の写真展 フォトクラブ 彩光 9:30~ ■	1/16~2/18 企画展「第14回 篆刻展」 9:00~ ■	
1/23 ゆびで描く♪かんたんパステルアート 実習室 13:30~(材料費要)	1/20~25 第14回楽しい絵手紙展 NHK文化センター 高松「楽しい絵手紙」 9:30~ ■	2/22~3/21 企画展「第14回 郷土の文化拓本展」 9:00~ ■	
2/8 ひな祭り折紙教室 実習室 13:00~(材料費要)	1/27~2/1 第19回創桜会書道展 四国電力書道部 9:30~ ■	高松市塩江美術館 ☎ (087)893-1800	
2/19 プリザーブドのコサージュを作ろう! 実習室 13:30~(材料費要)	2/3~8 讀岐彫展示会 讀岐彫同好会 9:30~ ■	11/14~1/18 大木裕之展 現代子 9:00~ ■	
高松テルサ ☎ (087)844-3511	2/24~3/1 ありしひの昭和 昭和の風の会 9:30~ ■	1/25~3/8 HANNA+千葉尚美展(仮題) 9:00~ ■	
12/14 ヴァリエコンサート ホール 13:00~ ■	高松三越 美術画廊 ☎ (087)825-0738	高松市石の民俗資料館 ☎ (087)845-8484	
12/23 フィットネスラボ キッズ ダンス発表会 ホール 13:00~ ■	11/25~12/1 片岡球子と巨匠版画展 10:00~ ■	11/29~12/7 共催展「師走展(前期)」	
12/26 岡昭宏 リサイタル ホール 18:00~ ■	12/2~8 第52回現代工芸美術家協会四国会 10:00~ ■	企画展示室 9:00~ ■	
12/28 東京音楽大学校友会 香川県支部コンサート ホール 9:00~ ■	12/9~15 口バート・ハインデル展 10:00~ ■	12/12~21 共催展「師走展(後期)」	
1/11 第2回青い鳥コンペティション ホール 9:00~ ■	12/16~22 暈展 10:00~ ■	企画展示室 9:00~ ■	
●は有料、■は無料、▲は参加料、★は整理券が必要です。(記号表示は判明したもののみ)		12/20 森田学バスリサイタル~愛の歌とお話でたどるイタリア~ エンタラントホール 18:30~ ■	
「文化通心」第85号は3月1日発行です。次の期間(3月1日から5月末日)の情報を2月10日までにお知らせ下さい。☎ (087)826-2212		1/10~2/15 企画展「第29回 思可牟展」 企画展示室 9:00~ ■	
●は有料、■は無料、▲は参加料、★は整理券が必要です。(記号表示は判明したもののみ)		2/28~3/29 企画展「収蔵品展(仮題)」 企画展示室 9:00~ ■	
「文化通心」第85号は3月1日発行です。次の期間(3月1日から5月末日)の情報を2月10日までにお知らせ下さい。☎ (087)826-2212		2/28~3/20 ホール展「開館20周年記念展示(仮題)」 エンタラントホール 9:00~ ■	
●は有料、■は無料、▲は参加料、★は整理券が必要です。(記号表示は判明したもののみ)		12/12、1/9、2/13 古文書を読み会(8)~(10)江戸時代の和歌等を読み解いて 講師:加藤優(鎌田共済会郷土博物館・館長) 講座研修室 14:00~教材費要	
●は有料、■は無料、▲は参加料、★は整理券が必要です。(記号表示は判明したもののみ)		土庄町文化協会 ☎ (0879)62-7013	
●は有料、■は無料、▲は参加料、★は整理券が必要です。(記号表示は判明したもののみ)		1/18 第22回土庄町音楽フェスティバル 土庄町中央公民館 13:00~ ■	
●は有料、■は無料、▲は参加料、★は整理券が必要です。(記号表示は判明したもののみ)		さぬき市志度音楽ホール ☎ (087)894-1000	
●は有料、■は無料、▲は参加料、★は整理券が必要です。(記号表示は判明したもののみ)		12/21 志度音楽ホール少年少女合唱団 第22回定期演奏会 14:00~ ■	
●は有料、■は無料、▲は参加料、★は整理券が必要です。(記号表示は判明したもののみ)		1/25 林家木久扇 一門会 14:00~ ■	
●は有料、■は無料、▲は参加料、★は整理券が必要です。(記号表示は判明したもののみ)		2/8 New Artists Recital Vol.16 弦楽四重奏団 パシフィック・カルテット・ウイン 14:00~ ■	

上記予定は変更する場合もあります。

# ■財団の活動報告とお知らせ

## 中條文化振興財団

### 中條文化振興財団・ 文化活動奨励事業

去る十月一日(水)、平成二十六年度財團賞授賞式及び助成金交付団体認定書授与式が当財団で行われました。

今年度は、財團賞に、中川克英氏（当財團理事田井靖二氏・香川の茶室を考える会推薦）と番屋御船唄保存会（東かがわ市教育委員会推薦）、助成金交付団体に、瀬戸内サーカスアクトリー、田井子供神相撲保存会、立山信浩氏、てしまのまど、人形劇研修所木偶塾が決定しており、岡市代表理事より賞状及び認定書が贈呈されました。

式典後の懇親会では、番屋御船唄保存会代表の田中晶二氏に「口伝え」で伝承されていいる御祝の唄を一節ご披露いたしました。正座をし、姿勢を正して唄う田中氏の唄声は、部屋中に響き渡り全員が感動して聞き入つておられました。



### 平成二十七年度 助成金応募受付中

#### ■対象事業

平成二十七年四月一日から平成二十八年三月三十日までに実施予定の文化事業。

詳しくは助成基準をご覧ください。

#### ■応募の方法

財團所定の助成金交付申請書を提出してください。(HP参照)

応募締切は、平成二十七年一月末日。

三十万円を限度とし、活動に応じた金額を審議委員会が決定致します。

助成基準、所定の申請書等は、当財團ホームページよりご確認いただけます。事務局までお問合せ下さい。

審議委員会による書類審査を行い、必要があればプレゼンテーションを開催。

平成二十七年三月末までに結果をご連絡致します。

この御船唄が何十年先にも歌い継がれていくことを願いつつ、今後の皆様方のご活躍を心よりお祈り申し上げます。

この御船唄が何十年先にも歌い継がれていくことを願いつつ、今後の皆様方のご活躍を心よりお祈り申し上げます。

### 第一回あ・うんの数寄 ヤング茶会と讃岐もの開催決定

日時 平成二十七年三月二十二日(日)  
会場 玉藻公園 被雲閣

讃岐香川の様々な文化を応援したいと発足した財團の活動もおかげさまで、二十年を越えました。長く親しんで頂いた「大茶会」は一段落して、しばらくお休みを頂きましたが、この度は新しい企画を考えました。

現在、香川県に認定された伝統的工芸士は、三十八品目、百十六人いらっしゃいます。中には国の現代の名工に指定されている方もおられます。茶の湯もそうですが、将来に渡つて消えて欲しくない文化だと思いますが、現実の環境はなかなか厳しい状況です。これを未来に続けていけるようにしたいというのが関係者の思いだと考えますが、引き継ぐ人が少ないのも現実です。

まずは知つていただくことが大事といふことで、伝統的工芸士の皆さんの展示、解説、ワークショップと、高校、大学、各流派青年部等の若手茶人の皆様による茶席の開催というコラボ茶会を企画致しました。

詳細は次号の春号に発表致しますが、出来るだけ多くの若い人たちに、親しんでいただきたいと考えておりますので、趣旨をご理解いただき多くの方々に協力を賜わりたくお願いいたします。

今後海外に出る子供達も増えると思いまが、まずは地元を知つて、日本を知つて、それぞれ自分のバックボーンが何処にあるのか、外国の方々に紹介出来ることが、大事だと思います。しゃべる能力は大事ですが、何を伝えるのかというのも大事なことだと思います。よろしく

### 編集後記

先日、民話を語る活動をされていました。方のお話を聞く機会がありました。

いわゆる語り部ではなくてボランティアで、依頼があれば出かけていくそうです。一番むつかしいのは、方言で語ることだとおっしゃる。

ご自分で、普通に使っている言葉で話をしているつもりなのに、微妙に言い回しやイントネーションが「違う」と古老に直されるそうです。言葉の持つ雰囲気が語る上で、大切な要素になつていていますね。

どこの県でもそうでしょうが、話し方や言葉使いで、ある程度どこの地域の方か想像できるらしいです。方言もルーツを辿れば奥が深くおもしろい。お国訛りはすばらしいと思う。

〔声・情報お寄せください〕

〒760-0017 高松市番町二丁目一一一二

公益財團法人中條文化振興財團編集部

T E L (087) 826-3355

F A X (087) 826-2212

info@chuojo-zaidan.or.jp